

ホールアース自然学校の キャンプ

総合案内



ホールアース自然学校



目次

I ホールアース自然学校のキャンプとは 3

4 つの特徴 4
3 つのねらい 5
食へのこだわり 5

II 参加するためのQ&A 6

参加にあたって 7

- Q1 どのような活動があるのですか？
また期間はどれくらいですか？
- Q2 スタッフはどんな人達ですか？
- Q3 どんな所に泊まるのですか？
- Q4 初めてなので一人で参加させるのが不安なのですか？
- Q5 夜尿があるのですが大丈夫ですか？
- Q6 喘息があるのですが大丈夫ですか？
- Q7 食物アレルギーがあるのですが大丈夫ですか？
- Q8 障がいを持っていますが参加できるのでしょうか？
- Q9 低学年なので親元を離れられるか心配なのですか？
- Q10 自分の荷物を現地に送ってもいいですか？
- Q11 事前に説明会などはありますか？
- Q12 活動中に病気や怪我をした場合、近くに病院はありますか？
また保険には加入しているのですか？
- Q13 ホームシックが心配なのですか？
- Q14 台風などキャンプが中止になることはありますか？
- Q15 事前確認の連絡はありますか？

持ち物について 13

- Q1 持ち物はどんな物を用意したらいいですか？
- Q2 活動によって必要な持ち物がありますか？
- Q3 持ち物に記名は必要ですか？
- Q4 虫かご等指定の持ち物以外の物を持って行ってもいいですか？
- Q5 持って行ってはいけないものはありますか？

集合解散・引率について 19

- Q1 集合解散場所はどこですか？
- Q2 子ども一人で集合解散場所まで行く場合はどうすればいいですか？
- Q3 急に参加できなくなったり、集合時間に遅れそうになったらどうすればいいですか？
- Q4 乗り物酔いが心配なのですが？
- Q5 解散時間が遅れることはありますか？
- Q6 保護者の出迎えが遅れる場合はどうしたらいいですか？
- Q7 解散の時に子どもの様子を聞くことはできますか？

現地での活動や生活について 22

- Q1 予定していた活動が中止になることはありますか？
- Q2 体調が悪かったり疲れてしまっても、プログラムに参加しなくてはいけませんか？
- Q3 一日の生活の流れはどうなっていますか？
- Q4 自由時間には子どもの好きなことができますか？
- Q5 食事はどのようなものが出ますか？
- Q6 どうしても食べられない物でも好き嫌いなく食べないといけませんか？
- Q7 現地で洗濯はできますか？
- Q8 保護者がキャンプ中に子どもの様子を聞いたり、見に行ったりしてもいいのですか？
- Q9 緊急連絡はどのようにしたらいいですか？
- Q10 キャンプ中に子どもを迎えに行くようなことはありますか？

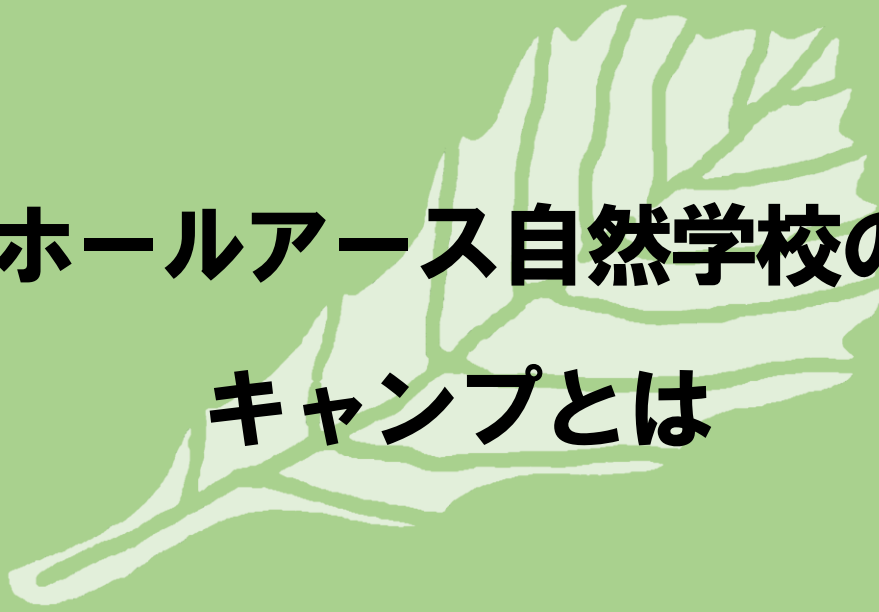
キャンプが終わったら 26

- Q1 キャンプの様子はどのように知らせてくれるのですか？

付録 参加記録 27

I

**ホールアース自然学校の
キャンプとは**



4つの特徴

1 本格的な自然体験

大いなる自然の営みを全身で感じることで、動物としての本能が呼び覚まされ、五感が研ぎ澄まされます。本格的な自然体験を通じて「人間も自然の一部である」という感覚を育んでいます。

2 少人数制・グループ編成をしない

基本的にグループ（班）編成をしません。決まったメンバーだけの関わりではなく、キャンプに参加している子どもやスタッフ、学生リーダー等が大家族のように係わり、普段通っている学校や塾だけでは築けない人間関係を育むことで、多様性を認め、社会性を身につけるキャンプを目指しています。

3 夢中になる時間の大切さ

キャンプでは予めプログラムの内容が示されていますが、天候や子ども達の状況によって大胆に組み替えていきます。最低限のルールはありますが、心ゆくまで何かにのめりこむことが子どもたちの好奇心を育み、主体性の芽を伸ばすことにつながると考えています。

4 家畜動物とのふれあい

富士山本校にはヤギやニワトリなどの家畜動物がいます。キャンプでは動物たちのお世話をします。動物たちの糞は肥料になり、畑に施肥され作物となって人間の口に戻ります。人間が残した野菜くずは再び動物たちが食べます。そうした小さな「命の循環」に触れることで、人間と動物や植物との関係を実感し、命の大切さを学びます。時にはその動物たちの命をいただき、命の尊さを感じるプログラムも実施しています。

3つのねらい

1 自分以外の他者や自然、生き物たちに「思いやりを持つ」

2 世の中には様々な世界や価値観があることを「知る」

3 物事を自ら考え、「行動」できるようになる

キャンプは小さな“社会”です。キャンプは家での快適な生活と違って不便です。ただ一方でそうした不便を楽しむ場でもあります。不便な生活の中で自ら考え工夫することで、自ら行動することの大切さ、仲間や親のありがたさを感じることができます。

初めて参加する子どもたちは、普段の生活と180度違う生活に初めは戸惑いつつも、次第に生き生きと“自分らしさ”を発揮し、成長していきます。私たちは子どもがキャンプを通じて逞しく成長する場面を幾度となく目にしてきました。私たちはキャンプを通じて子どもたちに上記のような素養を身につけてもらうことを主眼に置いています。

食へのこだわり

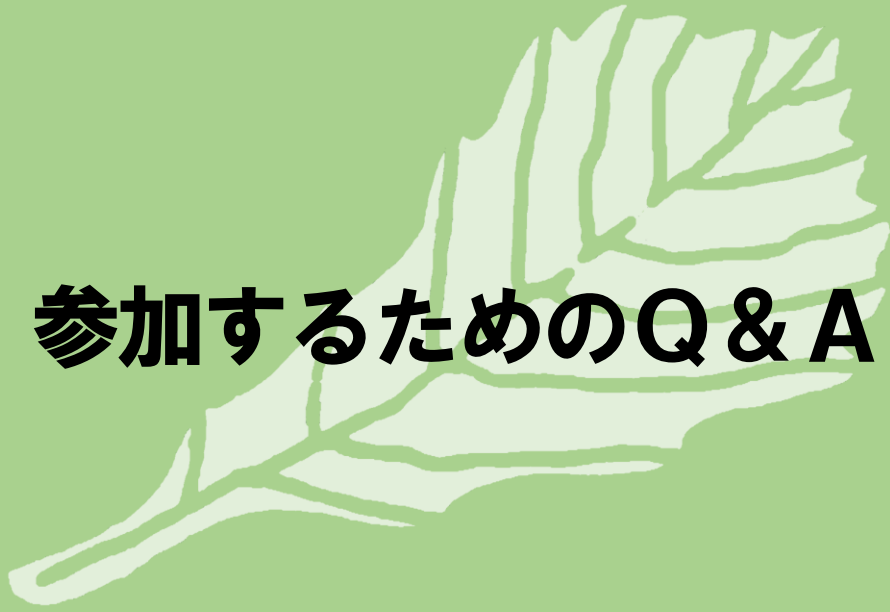
1 地のもの、旬のもの、安心・安全なものを、おいしく、気持ちよく食べる

2 無農薬野菜を栽培するホールアース農場や、地域の農家さんの“顔の見える”野菜を可能な限り提供する

3 添加物・化学調味料は可能な限り使用しない

Ⅱ

参加するためのQ&A



参加にあたって

Q1. どのようなキャンプがあるのですか？
また期間はどれくらいですか？

A. 春・夏・冬休みや、GW・週末を利用した1泊2日～7泊8日程度のキャンプがあります。年齢・対象に合わせて様々なキャンプを行っています。例えば一人では参加できない幼児を対象とした親子キャンプ、初めて一人で参加する小学生向けのキャンプ、自然に親しむキャンプ、里山の生活体験に特化したキャンプなどがあります。
何回も参加したお子さんは、専門性の高い富士登山をするキャンプや、富士山冒険学校などの総合的なキャンプに参加することもできます。

Q2. スタッフはどんな人達ですか？

A. 各キャンプとも、ホールアース自然学校の職員がキャンプ長、プログラム長、食事担当を担います。その他にホールアースのキャンプのあり方やリスクマネジメントを学んだ学生・過去にホールアースのプログラムに参加していた社会人などが、ボランティアスタッフとしてサポートに入る場合もあります。
またプログラムの専門性によっては外部の専門講師をお呼びする場合があります。

Q3. どんな所に泊まるのですか？

A. キャンプによって一部異なりますが、富士山本校では木々に囲まれたデッキにテントを設営して寝泊まりします。
また遠征する場合は現地の野外活動センターやキャンプ場等を使用する場合があります。

Q4. 初めてなので一人で参加させるのが不安なのですが？

A. 小学校低学年から一人で参加している子どもがたくさんいますが、着替えや入浴など自分の事は自分である程度出来るようになってから参加してください。
ご心配もあるかと思いますが、集団の中でキャンプをやり通すことで自立心が育ち、生きる力となると考えています。

Q5. 夜尿があるのですが大丈夫ですか？

A. スタッフが配慮しますので安心して参加ください。少量であれば就寝前の水分補給の制限や、夜中にトイレに起こすなどの配慮をします。また毎晩で量が多い場合は、本人の気持ちに配慮しつつ、紙パンツも使用できます。遠慮なくご相談ください。

Q6.

喘息があるのですが大丈夫ですか？

A. キャンプ中は衛生面で物理的にご自宅のようにはいきませんが、スタッフが最大限配慮します。主治医の先生とよくご相談のうえで参加を検討ください。

Q7.

食物アレルギーがあるのですが大丈夫ですか？

A. 一歩間違えれば重篤な症状になりかねませんので、必ず詳細をご相談ください。

キャンプ中の食事は、ある程度個別対応も可能ですが、野外炊事などお子さま本人が調理をするようなプログラムや、ホールアース自然学校以外の施設を利用する（食事提供を依頼する）プログラムでは、対応が難しい場合があります。

Q8.

障がいを持っていますが参加できるのでしょうか？

A. ハンディキャップのレベルによって参加可能です。
ただし施設・フィールドやスタッフ配置の理由から、車いす等を使用している方・日本語でのコミュニケーションや集団指示の理解の難しい方・他のお子さんとの協調性が極端にはかれない方などは、ご相談させていただく場合があります。

またホールアース自然学校では、ハンディキャップのあるお子さま向けのプログラムも実施しております。

Q9. 低学年なので親元を離れられるか心配なのですが？

A. 子どもの単独参加の最低年齢を小学1年生としています。
子どもによって発達状況が大きく違いますので、就寝、起床、食事、入浴、着替えなどの基本的な生活習慣が著しく身につけていないお子さんの参加はおすすめできません。
お子さんの普段の生活からご判断ください。

Q10. 自分の荷物を現地に送ってもいいですか？

A. 荷物を自分で準備し、しっかりと自分で持って参加することを基本としています。
これは自分の荷物を認識し自分で荷物の量や種類を考えて調節したり、物を大切にできる気持ちを育てるためです。また活動後もしっかり自宅まで荷物を自分で持ち、洗い物等の片付けをしてキャンプが終わるとしていただきます。
荷物は送ることなく自分で持って参加するようにしてください。

Q11. 事前に説明会などはありますか？

A. 説明会などは実施しておりません。
活動2週間ほど前に「しおり」等をお送りしますので、それをご覧になって準備を進めてください。
またご質問は遠慮なくお問い合わせください。

Q12. 活動中に病気や怪我をした場合、近くに病院はありますか?また保険には加入しているのですか?

A. 近隣に病院があります。また遠征するキャンプの場合には救急ボックスを携行し、現地の医療機関を必ず確認しています。
万一事故が起きたときは傷害保険に加入しておりますので、当該保険の範囲内で補償いたします。

Q13. ホームシックが心配なのですが?

A. 昼間のプログラム中にホームシックで活動できないということはほとんどありません。
ホームシックになる時は就寝時など昼間のプログラム以外の時間帯になる子がほとんどです。
スタッフが個別対応しますが、お子さん自身で乗り越えていくことが成長の一步だと考えています。
小さなお子さんや初めて参加するお子さんにご心配かと思いますが、参加を繰り返すうちになくなっていきます。

Q14. 台風などでキャンプが中止になることはありますか?

A. 野外でのプログラムのため荒天の場合など参加者の安全を第一に考え、中止にする場合があります。
台風など事前に予測ができる場合、お申込みの皆様へメールか電話にてご案内させていただきます。

Q15. 事前確認の連絡はありますか？

A. 各キャンプのキャンプ長より、活動1週間前～前日頃にメールまたは電話にて最終の確認連絡をさせていただきます。



持ち物について

Q1. 持ち物はどんな物を用意したらいいですか？

A. 持ち物や服装はキャンプする上で最も配慮が必要なものです。参加するキャンプやお子さんにあった準備をするためにも、下記を参照の上準備を進めてください。

<服装>

帽子、リュックサック（全ての荷物を入れる）、履きなれた靴、季節に合わせた上着類、名札、ホールアース自然学校オリジナルのバンダナが基本です。

名札・バンダナは、キャンプ初日に現地でお渡しします。

<リュックサック>

リュックサックは必ず背負い、両手をあけるようにしてください。

野外での動きやすさを確保し、危険から身を守るために必要な条件です。大きさの目安は中学生以上は65L、小学3年生以上は45L、小学1年生以上は32L程度です。

<ナップザック>

活動中に使うお弁当やタオル、水筒などが入る程度のリュックサックです。こちらも大きなリュックサックと同様、両手があく背負えて肩ひもが太いものをご用意ください。肩掛けカバン等は適しません。



<靴・靴下>

新しい靴は靴ずれして大変なので、履きなれた靴が良いでしょう。また野外でのプログラムのため、防水性のあるものが望ましいです。

ほとんどのキャンプでは動物のお世話をします。履きなれた靴のほかに長靴が必要です。

また富士山などの登山をする場合は、なるべく底の厚いしっかりした靴を用意してください（登山靴でも結構です）。

靴下は丈の短いものは野外活動には不向きですので、丈の長いものが良いでしょう。



<下着類>

基本的に泊数分必要となりますが、プログラム内容によっては毎日着替えができない場合もあります。プログラム内容・お子さんの状況などに応じて準備してください。

<上着類>

季節に合わせた上着類を着用してください。

ただし森の中でのプログラム等では、ケガや虫刺されの心配がありますので夏場でも長袖・長ズボンを着用してください。

また朝晩は冷え込むことがありますので、羽織るものを持たせてください。冬場はジャンパーやフリースを持たせてください。

ズボンは乾きやすく、伸縮性のあるものを用意してください。とくに長ズボンは裾が長かったり、裾に紐がついているようなものは草木等に引っかかり、大変危険ですので避けてください。

<洗面用具・タオル類>

歯磨き等の洗面用具はできるだけコンパクトなものを一式用意してください。

タオルは薄手のものが2枚あれば結構です。バスタオル等のかさばるものは必要ありません。ただし川遊び等のプログラムがあり、着替えをする時などに必要な場合は持ってきて構いません。

またタオル2枚のうち1枚は日本手ぬぐいが望ましいでしょう。日本手ぬぐいは怪我の場合に包帯や三角巾代わりに使え、とても便利なものです。子ども力でも容易に絞ることができ、乾燥も早いという優れたものです。



<ヘッドランプ>

キャンプ場内は外灯がないため、すべてのキャンプでヘッドランプが必要です。

手に持つ懐中電灯は活動には不向きなので、できるだけ両手があくヘッドランプをご用意ください。



<手袋・軍手>

動物のお世話、洞窟探検、飯盒炊さん等で着用します。

動物のお世話や洞窟探検の際には、ゴム引きの作業用手袋が望ましいです。また飯盒炊さんの際は木綿100%の軍手が望ましいでしょう。化繊や滑り止めのついた軍手だと熱いものを持った時に溶けて大怪我の元になります。

<水筒>

容量は500ml~1L程度が望ましいでしょう。水を入れると重くなるので体に合った大きさのものを用意してください。重い魔法瓶のようなものは望ましくありません。

ペットボトルでも十分ですが、カバーに入れて蓋・本体・カバーに記名をしてください。

<雨具（レインウェア）>

必ず上下に分かれている物にしてください。

頭から被るポンチョのようなものだと足元が濡れて活動しにくくなります。また薄いビニール製の使い捨てのようなものは好ましくありません。多少高価なものとなりますが、良い雨具は激しい雨にも充分耐えられ、防風・防寒にも役立ち、長く使用することができます。



<ビニール袋>

特に定められた使用目的はありませんが、何かと便利なものです。着替えや汚れた衣類を入れたり、野草を採集して入れたり、使い道はたくさんありますので数枚用意してください。レジ袋などで構いません。

<健康保険証>

必ず用意してください。コピーでは対応できない医療機関がありますので、できる限り原本をお持ちください。

現地に着きましたらスタッフが回収させていただき管理します。

<筆記用具>

プログラムで記録を取るときなどに使います。普段使っているもので構いません。

<日焼け止め>

夏場など野外で活動する場合には必携です。特に皮膚の弱いお子さんは必ず持たせるようにしてください。

<メガネ用ストラップ>

メガネをかけているお子さんはストラップの着用を勧めます。特に川遊び等の水のプログラムには必携です。

<持病の薬>

薬の服用についてはできるだけお子さんが自分で管理するようにしてください。

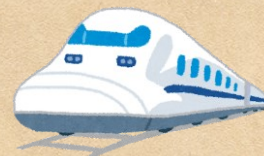
小さいお子さんやご不安な場合は、ご連絡いただければスタッフが管理します。その場合は服用方法等についてお知らせください。

<電車の切符>

お子さま1人で行き帰りする場合にお持ちください。

現地に着きましたらスタッフが集めて管理します。

なお解散時に駅までお送りする際、渋滞などにより遅延する場合があります。帰りに新幹線や特急で帰る方は指定席券ではなく、自由席券をご用意ください。



<お金>

キャンプ中にお金を使うことはありませんが、終了時にお土産を買えます（フェアトレード商品やホールアースオリジナルグッズなど。単価200円～1,000円程度）。

現地到着後、解散時までお預かりいたします。

Q2.

活動によって必要な持ち物がありますか？

A. 全体的な持ち物については前述の通りですが、プログラム内容によってさらに持ち物に配慮が必要なこともあります。下記を参考にしてください。

<虫よけ・虫さされの薬> 夏のキャンプ

夏のキャンプでは必携です。蚊やブヨなどがいます。お子さまによってはかなり腫れ、通院の必要が生じる場合があります。またさされたら直ちに塗ることによって大事に至らない場合があります。

<参加費以外の費用（寝袋レンタル等）>

現地又は集合場所にて現金にてお支払いください。
（お釣りの無いようにお願いします）



<川遊び用の靴> 夏のキャンプ

川遊び等ではアクアシューズがあると便利です。学校の上履きでも構いませんが、脱げにくく、つま先やかかとが露出しない物を用意してください。露出しているとケガ等の恐れがあり大変危険です。

Q3.

持ち物に記名は必要ですか？

A. どんな小さなものにも必ず名前を書いてください。多くのお子さんとキャンプをしますので荷物の管理も大変です。紛失しても記名してあれば本人の元に戻りますが、記名がないと特に小さなお子さんは自分の荷物がどれなのかもわからず苦労します。
荷物管理のためにも必ず記名をお願いします。

Q4.

虫かご等指定の持ち物以外の物を
持って行ってもいいですか？

A.

「しおり」に書いている持ち物以外に、図鑑や虫かご・虫網・デジカメなどを持ってくるお子さんがいます。

お子さんの興味関心を最大限に伸ばすためにも、そうした物を持参するのは構いませんが、個々の責任において持って来るようにしてください。

ただし、活動に不向きな物（高価な双眼鏡や重たい図鑑など）は管理も大変ですので、安価な子どもらしいものを持たせるようにしてください。また管理についてはお子さん自身によく話しておいてください。

Q5.

持って行ってはいけないものはありますか？

A.

キャンプは集団生活なので最低限のルールがあります。

以下の事項をよくお読みになってご理解ください。



<遊び道具>

テレビゲームなどの電子機器やマンガ等は持ってこないでください。都会での遊びではなくできるだけ自然の中で遊ぶようにしてもらいたと思います。

<おかし>

一切必要ありません。キャンプ中はホールアース自然学校側で用意し、できるだけ土地の産物等をおやつにするように心がけています。

<携帯電話・スマホなど>

自然の中で仲間と思いきり楽しんでもらいたいため、基本的には必要ありません。お子さま一人で集合場所まで行くなど、ご家庭に連絡を取る必要がある場合に限り、お持ちいただいても構いません。その場合は、到着後にお預かりし、解散時にお返しします。

集合解散・引率について

Q1. 集合解散場所はどこですか？

A. キャンプによって一部異なりますが、JR新富士駅（新幹線）・JR富士駅（東海道本線）・現地（ホールアース自然学校）となります。詳しくは「しおり」をご覧ください。各駅からはスタッフが引率します。

Q2. 子ども一人で集合解散場所まで行く場合はどうすればいいですか？

A. 集合時は他のお子さまと同じ集合場所で合流します。解散時はスタッフが指定の電車等のドア口まで同行し、乗車したことを確認いたします。なお解散時に駅までお送りする際、渋滞などにより遅延する場合があります。帰りにJR新富士駅から新幹線で帰る方は指定席券ではなく、自由席券をご用意ください。



Q3.

急に参加できなくなったり、集合時間に遅れそうになったらどうすればいいですか？

A.

緊急な要件は「しおり」に記載のスタッフ携帯電話かホールアース自然学校までご連絡ください。

なお集合場所周辺は渋滞などが起こりやすい場所でもありますので、できるだけ公共交通機関をご利用の上集合ください。

Q4.

乗り物酔いが心配なのですが？

A.

各駅で集合解散する時や、プログラムによっては車両などで移動することがあります。

普段から乗り物に酔ってしまうお子さんは、乗り物に乗る30分ほど前には酔い止め薬を飲んでください。

キャンプ中はスタッフが服薬の管理をすることも可能です。症状がひどいお子さんは、事前にお知らせください。移動中はスタッフが注意を払い、席の移動をするなど対応いたします。

Q5.

解散時間が遅れることはありますか？

A.

現地（ホールアース自然学校）での解散は原則遅れることはありません。

ただし各駅で解散される場合は、車両での移動になりますので交通事情によっては解散時間に遅れが出ることもあります。

Q6.

保護者の出迎えが遅れる場合はどうしたらいいですか？

A. 事故を防ぐため保護者の方に引き渡すことを原則としています。
保護者の方の出迎えが解散時間より遅れる場合には、その旨を必ずご連絡ください。

Q7.

解散の時に子どもの様子を聞くことはできますか？

A. 解散時に詳しいお話をするべきなのですが、大勢のお子さんが参加しますので一人ひとりに時間をかけると長い時間待たされるお子さんが出てきてしまいます。
そこでキャンプ中の様子は後日メールや電話にてお伝えさせていただきます。
お子さんの様子で気になる点などありましたらお気軽にご連絡ください。



現地での活動や生活について

Q1. 予定していた活動が中止になることはありますか？

A. 各プログラムは計画に沿って実施されますが、当日の天候や子ども達の体調によっては日程を入れ替えたり、プログラムを中止にしたりすることもあります。また子ども達の要望を聞いてプログラムを大胆に組み直すこともあります。

そのため行程表はあくまでも目安で、細かい時間等については変更することもあるとお考えください。

ただし余程の天候理由がない限りは主なプログラムについては中止しません。

また台風などの荒天時にはテント泊を中止し、山小屋風の建物に避難して寝泊まりする場合があります。

Q2. 体調が悪かったり疲れてしまっても、プログラムに参加しなくてもはいけませんか？

A. キャンプは集団生活でもあるので最低限のルールがどうしても必要になります。そのため特別な理由なく、ルールを守らず自分勝手な行動をしている子に対しては注意する場合があります。これは社会生活を送る上で大切なことだと考えているからです。

しかし決して強制的に何かをさせるものではありませんので、子ども達の体調に注意し、前向きに取り組めるような興味関心を引き出すように努力しています。

Q3.

一日の生活の流れはどうなっていますか？

A. キャンプやプログラムによって異なってきますが、ここでは夏休みキャンプのある一日を紹介します。基本的な流れは変更ありません。

時間	内容
6:30	起床
7:00	動物のお世話
8:00	朝食・片付け・荷物整理
9:00	川遊び
12:00	昼食・片付け・休憩
13:00	自由選択プログラム（生き物探し、クラフト等）
16:00	動物のお世話
18:00	夕食・片付け
19:00	キャンプファイヤー
20:00	入浴・歯磨き
21:00	消灯

Q4.

自由時間には子どもの好きなことができますか？

A. 自由時間には自然の中に出て行き、色々なことに触れ、感じ、吸収して行ってほしいと願っています。
そのため子ども達のやりたいことはなるべく尊重するようにしています。ただし全体行動に支障をきたすようなことや安全面から考えて難しいこともありますので、その場合には子ども達によく話をします。

Q5. 食事はどのようなものが出来ますか？

A. 「地のもの、旬のもの、安心・安全なものを、おいしく、気持ちよく食べる」ことを方針としています。
無農薬野菜を栽培するホールアース農場や、地域の農家さんの“顔の見える”野菜を可能な限り提供し、化学添加物・化学調味料を可能な限り使用しないようにしています。

Q6. どうしても食べられない物でも好き嫌いなく食べないといけませんか？

A. 食育の観点で「残さず食べよう」と声掛けをしますが、無理強いはしません。
特に里山の食文化等を体験するため普段食べられない食材や料理が出ることもあり、子どもにとっては大変な場面もあるかと思います。
スタッフは無理に食べさせるのではなく、その食材や料理の意味、感謝の気持ちを持たせるように話をします。
すぐには食べられなくても、そういった意味を理解することが大切です。

Q7. 現地で洗濯はできますか？

A. 基本的に長期間のキャンプ以外はキャンプ中の洗濯はできません。
ただし小さいお子さんや汚れてしまって着替えがないお子さん等は、状況に応じて洗濯する場合があります。

Q8.

保護者がキャンプ中に子どもの様子を聞いたり、見に行ったりしてもいいのですか？

A. 特に初めて参加するご家庭では何かと不安がつきまとうものです。キャンプ中にお電話でお子さんの様子を聞きたくなる気持ちはわかりますが、お子さんの帰りを静かに待ち、お子さんの自立心を見守っていただきたいと思います。また保護者の現地見学は、お子さんのキャンプ中はご遠慮ください。これもお子さんの自立心を育てるためと、他のお子さんへの配慮からお願いしています。キャンプ中以外でしたら施設の見学などが可能ですのでご相談ください。

Q9.

緊急連絡はどのようにしたらいいですか？

A. 万一ご家庭に緊急事態が発生した場合は、遠慮なく「しおり」記載のスタッフ携帯電話かホールアース自然学校までご連絡ください。

Q10.

キャンプ中に子どもを迎えに行くようなことはありますか？

A. 体調を崩した場合など活動継続が困難とスタッフが判断した時には、保護者の方と相談の上、お子さんを迎えに来て頂く場合もあります。

キャンプが終わったら

Q1. キャンプの様子はどのように知らせてくれるのですか？

A. 一部のキャンプではキャンプ中の写真をクラウド上にて共有いたします。
また気になる点やキャンプの様子をお聞きになりたい方はお気軽に問合せ
ください。



参加記録

回	年月	学年	参加キャンプ名
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

回	年月	学年	参加キャンプ名
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			





ホールワース自然学校

〒419-0305

静岡県富士宮市下柚野165

TEL 0544-66-0152

MAIL info@wens.gr.jp